

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

福岡県知事  
服部 誠太郎 殿

提出者  
住 所 福岡県朝倉市小田1275番地  
株式会社 セリア・ロイル  
氏 名 代表取締役社長 山内 大助  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0946-21-8881

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 セリア・ロイル
事業場の所在地	福岡県朝倉市小田1275番地
計画期間	2023年4月～2024年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	09 食品製造業 (アイスクリーム、ゼリー等の製造販売)
② 事業の規模	7,019,439千円
③ 従業員数	76名(2023年4月)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【汚泥】排水→油分離槽→場外排出(優良認定処理業者へ) 排水→汚泥貯留槽→脱水→場外排出(再生利用者へ) 【残渣】各工程→保管場所分別→場外排出

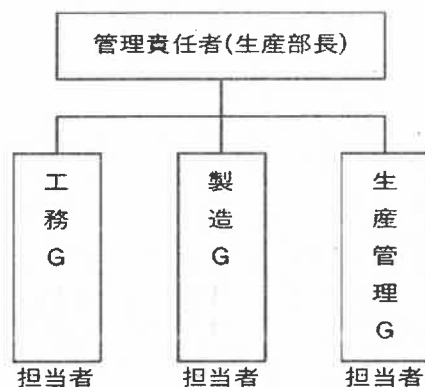
(日本産業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

生産部産廃管理チーム



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	排出量	554.14 t	332.44 t	164.3 t	0.75 t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥については、状態に応じて凝集剤滴下量を調整し脱水効率が向上している。 ・動植物性残渣については、ロス削減を目的に歩留目標を設定し製造G全体で取り組みを行った結果、減量することが出来た。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	排出量	544.14 t	327.44 t	160.0 t	0.50 t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥については、液体で排出している汚泥分を減らし、脱水率を向上させ排出総量を減らす。 ・動植物性残渣については、更なる歩留向上による減量と、地元企業と協業し肥料原料(有機物)としての転用を検討中。				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・種類別に保管場所があり教育を受けた従業員が分別。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き従業員への教育と分別の凡事徹底。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)				
	・特になし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)				
	・特になし				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)				
・特になし					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)				
・特になし					

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし				

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	全処理委託量	554.14 t	332.44 t	164.30 t	0.75 t
	優良認定処理業者への処理委託量	174.14 t	332.44 t	164.30 t	0.75 t
	再生利用業者への処理委託量	380.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託出来る業者を選定し、書類による契約を実施。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残さ	廃プラ	木くず
	全処理委託量	544.14 t	327.44 t	160.00 t	0.50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	30.00 t	327.44 t	160.00 t	0.50 t
	再生利用業者への 処理委託量	514.14 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生利用分を増やしリサイクル率の向上に努める。</li> <li>委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。</li> </ul>					
※事務処理欄					